

## 令和5年度 神南小学校 学校経営方針

### 1 はじめに

教育基本法、学校教育法の理念の下、学校教育の基礎を施す小学校教育の使命を自覚し、児童が生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、指導・支援に力を尽くす。同時に、国及び東京都、渋谷区教育委員会主要施策を踏まえ、地域とともに成長・発展していく学校を目指すために、学校経営方針を以下に設定する。

#### 【令和4年度学校評価を受けての考察】

※◎前回より上昇・維持 ▲前回より減少

- ◎「明るく楽しく学校へ」約89%
- ◎「協動的・対話的な学びのある授業」約81%
- ◎「基本的習慣が育っている」約89%
- ◎「進んで挨拶をしている」約71%
- ◎「子供や保護者に誠実に対応」約86%
- ▲「学校の特色が表れている」約72%
- ▲「思いやりの心を育む教育」約76%
- ▲「健やかな体を育む」約78%

#### (成果)

- ・児童、保護者への丁寧な対応の積み重ね
- ・挨拶等、生活習慣改善の取組への理解
- ・児童主体による授業への転換  
(校内研究を軸とする学習の積み重ね)
- (課題)
- ・コロナ鎮静化による保護者の学校への期待値の増加・道徳教育の更なる推進及び児童、教職員の更なる人権意識構築
- ・体力向上及び保健指導の更なる推進

### 神南小学校 教育目標

心もからだも健康で  
明るく力いっぱい  
生きる子どもを育てる

◎心豊かで思いやりの  
ある子ども

◎たくましくねばり  
強い子ども

◎よく考え  
くふうする子ども

※ ◎は重点目標

#### 【国や東京都・渋谷区の施策】

- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中央教育審議会作成)
- ・「新学習指導要領の着実な実施」
- ・「ICT活用」
- 東京都教育施策大綱
- ・子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す「学び」・子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む「学び」・ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす「学び」(教育×DX)
- 渋谷区教育委員会施策の方向性、重点事項
- ・多様性理解・人権教育・いじめ対応
- ・教科横断的な探究学習・個別最適の学び
- ・タブレット端末を活用する授業スタイルへの変換※デジタル教科書・コミュニケーションツールの活用・教育データの活用
- ・コミュニティ・スクールとして地域を巻き込んだ学校づくり・校舎建て替え事業の実施・教職員の働き方改革の推進

#### 【本校職員による令和5年度に向けての検討会議】

- ・学校と保護者が連携し、低学年からの規範意識の育成を。・SC・ネウボウ等、保護者の方への教育相談の理解推進、窓口の拡大。・道徳と特活とで連携した教育活動の推進・ICTの系統的な学習により蓄積された学びをより生かす。・生活、総合的な学習の時間で学んだ探究学習を各教科での更なる反映を。・安全に関する研修実施、共通確認(保護者と共に)
- ・登下校時等の指導強化。災害・不審者への訓練、対策強化。・接遇研修等、幅広い分野での研修会実施。
- ・コミュニティ・スクール等、地域の方との更なる情報共有。・職務を職員一人で抱え込まない体制づくり。

### 2 様々な教育課題を解決するための3つの柱

- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 学校マネジメントを踏まえた「チーム」としての教職員の意識改革
- 保護者及び地域、そして行政・関係機関との連携・協働体制の確立

### 3 目指す学校像

- (1) 子供に「力」が付く学校 ⇒ (確かな学力と豊かな心・健やかな体を育む学校)
- (2) 子供が行きたくなる学校 ⇒ (児童の安全・安心を図る学校)
- (3) 保護者・地域と共に歩む学校 ⇒ (地域が誇りに思える学校)
- (4) 職員が生き生きと働く学校 ⇒ (職員が気概に富み、チーム力が見える学校)

#### 4 学校経営の基本方針

- (1) 人権教育の充実と多様性の理解、思いやりの心の育成
- (2) 学習指導要領を基軸とした新たな学びの実現・探究学習の実施
- (3) 安全・安心への最善の取組及び徹底
- (4) 「チーム神南」で職員・児童・保護者・地域が共に「神南の良さ」の体感を

#### 5 学校経営基本方針の具体策

##### 【基本方針1-1】～心の教育の充実及び規範意識の育成～

- (1) 特別の教科道徳の時間を要として、各教科等で人権教育の推進及び多様性の尊重を踏まえた教育活動を行う。
- (2) 「神南のよいこ」を全校で継続徹底することで、基本生活習慣の定着を図り、きまりを守る児童を育成する。
- (3) 「神南小学校いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめをしない、させない集団作りを行うとともに、差別や偏見をもたせない学級・学年経営を行う。
- (4) あいさつを中心とした言語環境作りを更に進め、言葉遣いや集団生活での礼儀やマナーを身に付けさせる。
- (5) 「縦割り班活動」や代表委員会を始めとする「委員会活動」を通して、思いやりの心や社会性、公共性を育てる。

##### 【基本方針1-2】～特別支援教育の推進～

- (1) インクルーシブ教育について、教職員及び保護者の方への更なる理解推進を図る。
- (2) 個別指導計画及び個別の支援計画に基づき、きめ細やかな指導を行う。
- (3) 「授業のユニバーサルデザイン」化を取り入れ、教室環境の整備に努める。
- (4) 特別支援教育コーディネーターを中核とした校内委員会を活性化させ、保護者や関係機関との連携を図りながら個に応じた支援計画を立て、組織的に対応していく。
- (5) わかくさ学級との集団活動や交流活動を通し、個性を尊重し合う教育活動を進める。
- (6) ふたば学級及びきこえとことばの教室の教育活動の充実化とともに、各担任をはじめとする教職員、SC、関係機関等との連携を通して、指導・支援の活性化を図る。

##### 【基本方針2】～学習指導要領を基軸とした新たな学びの実現・探究学習の実施～

- (1) 主体的・対話的で深い学びを視点した授業を通して、思考力・判断力・表現力等を育てる。
- (2) 「探究」の学習を「シブヤ未来科」（総合的な学習の時間及び生活科を基とした渋谷区独自の学習）を主として実施し、他教科等においても、自分の思いや願いを伝える力の育成を図るとともに、様々な学習課題を「自分ごと」として捉える力をもたせていく。
- (3) 神南小の学習のきまりを基盤とした、学習習慣や学習規律を確立する。
- (4) 児童が主体的にタブレット端末を用いて、デジタル教科書や各学習ツールを利活用し、ICT教育を更に進めていく。同時に、「デジタルシティズンシップ教育」の推進も図る。
- (5) 習熟度別指導や教科担任制、東京ベーシックドリルの診断テストを活用し、学年全体で児童を見取り、個に応じた指導・支援を繰り返しながら、基礎学力の更なる定着を図る。
- (6) オリンピック・パラリンピック教育の成果を活かし、国際理解教育やボランティアマインド、日本の伝統文化理解の促進に努める。
- (7) 運動に親しむとともに、体力向上に係る目標を各個人で設定し、運動能力を向上していく。
- (8) 読書を推奨して、本に親しませる機会を多くとり、読書量を増やす。
- (9) 生活科を軸とした「スタートカリキュラム」を実施し、小学校教育への円滑な接続を図る。
- (10) コンサートや鼓笛隊、ブラスバンドクラブ等の音楽活動を通し、表現力や感性を高める。

### 【基本方針3】～安全・安心への最善の取組及び徹底～

- (1) 新型コロナウイルス感染症防止に対して、東京都や渋谷区教育委員会の指示のもと、その時の状況に応じた迅速かつ、適切な対応を図る。
- (2) 多様な想定での避難訓練の実施、保護者参加型の避難訓練等を通し、児童の防災意識を高めるとともに、非常時の対応力を向上させる。同時に教員研修も実施していく。
- (3) 児童の食物アレルギーについては、保護者との連絡を密にとり、組織的な対応を取る。
- (4) 施設設備の安全点検を定期的・組織的に行い、事故防止に努める。また、不要物の処分、日常の清掃、環境整備を徹底する。
- (5) 理科室・保健室・図工室等の薬品及び危険物の管理には細心の注意を払う。
- (6) 児童のけがや体調不良、特に首から上については、管理職を交えた組織的な対応を取り、不測の事態を避ける。
- (7) 登下校時だけでなく放課後等、校外における事故防止のため、渋谷警察生活安全課、交番、防犯協会、育成会、民生・児童委員等と日常的に連携を取る。また、事故発生に際しては、受傷児童の被害を最小限にする措置を第一として対応する。

### 【基本方針4】～「チーム神南」で職員・児童・保護者・地域が共に「神南の良さ」の体感を～

- (1) 教育公務員として、そして「基幹校」としての「自覚」と「誇り」をもつ。
  - ① 報告・連絡・相談の徹底を図る。
  - ② あいさつや気配り、気遣い（丁寧な声掛け等）が見える職場にしていく。
  - ③ 待遇等、校内研修を充実させ、教職員の資質向上を図る。
  - ④ 服務管理の徹底、費用対効果の意識化、校内環境を整える。
- (2) 校内の組織力を向上し、一人で職務を抱えない体制づくりを行う。
  - ① 「教科担任制」「全学年副担任制」「全学年少人数・習熟度別授業（算数科）」により、組織全体で子供たちを指導・助言を行う。
  - ② 職務分担を図ることで超過勤務者を減らすとともに、校務・教育のDXを進め、量から質への職務改善を図り、働き方改革を推進していく。
  - ③ 職層に応じた研修を行い、同じ層の職員同士の連帯感を高める。
  - ④ 最終退勤時間の設定及び「ノー残業デー」等、習慣化された取組を行っていく。
- (3) コミュニティ・スクール・PTA・同窓会を基軸とした学校支援体制を確立していく。
  - ① 地域人材の活用を積極的に進める。地域行事への教職員の参加を促進する。
  - ② 教育活動を様々な手段で広く公開するとともに、保護者や地域の方による学校評価等の声を真摯に受け止め、本校の教育活動の糧とする。
  - ③ 校舎建て替え事業を教職員、区教委、保護者、地域の方と連携して進め、地域に根差した「未来の学校」づくりを進めていく。
  - ④ 学校にとっても、地域にとっても、個においても「Well-Bing」（持続的な幸福）を目指し、「不易と流行」の見極めを図り、保護者及び地域の方と共に「地に足が付いた学校づくり」を推進していく。



## 「品格」の感じられる神南小学校に

子供から感じられる「品格」  
それを示していくのが教職員の「品格」